

資料 3

友達になるために

1 だれにだって障害（しょうがい）がおきる



あなたが高いところから飛びおりて足をくじいたり、^{ころ}転んでヒザをすりむいたときには足が痛くて足を引きずってしまいます。友だちや先生の肩をかりて歩くかもしれませんね。

また、朝おきたらのどが痛くて声が出ないことや風邪をひいて体がだるい時には家の人に車で学校まで送ってもらうこともあると思います。

このように、今まで普通にできたことができなくなったり、だれかに助けてもらわないとできなくなってしまうことがあります。

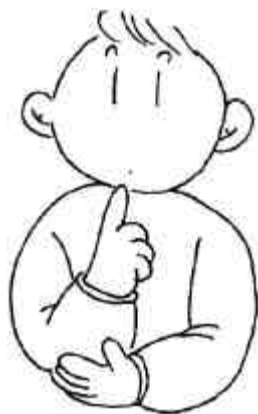
これを「障 害」といいます。

2 みんなだれかに助けられて生きている

あなたがまだ、赤ちゃんだったとき、1人では何もできませんでした。オムツを取りかえてもらったり、おっぱいやミルクを飲ませてもらっていたので、今あなたが生きているのです。今でもそうです。朝おこしてもらったり、ご飯を作ってもらったり、服を買ってもらっていますね。大人も同じです。1人の人ができることはほんの少しです。それ以外は家族や他の人に頼っています。

障 害のある人達も1人では生きていけません。人に頼ることがみなさんよりも少し多いだけなのです。

3 どんな子なのかな



世の中は、健康で元気に学校に通っている人だけではありません。目の見えにくい人や見えない人はメガネをかけたり、つえを持っています。手足が不自由な人は一人で立ったり歩いたりするのが難しいので車イスを使う人もいます。耳の聞こえにくい人や聞こえない人は、補聴器をつけたり、手話を使ってお話しをしたりしています。

これらの人のなかには、近くの学校ではなく、盲学校や聾学校、養護学校へ通って特別な勉強をする人もいます。私達の養護学校に通う子ども達の多くは、お母さんのおなかにいる時や、産まれる時に知的障 害という障 害をもつようになりました。

知的障 害というのは、考えたり覚えたりするのがとてもゆっくりです。物や人の名前、きまりややくそくごとがわからないことがあります。お話しができない子やうまく話すことができない子もいます。他の人から言われたことがわからず、他の人にしてほしいこと、自分がやりたいことをうまく伝えることができません。

みんなと一緒にいることができなかったり、ふざけたり怒ったりすることがあります。ですから、「自分かって」とか「わがまま」と思う人もいます。

例えば、あなたが1人で外国に行ったら、周りの人がいろいろ話しかけてきても言っていることがわかりませんね。あなたが言いたいことも言えません。こんなときはイライラしたり、逃げ出したい不安な気持ちになると思います。

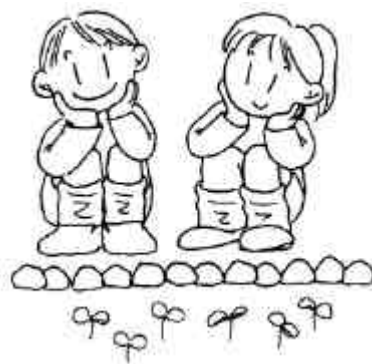
こんな時、ちょっとしたお手伝いをしてもらえるととても助かります。困っているときには気軽に声をかけてあげましょう。

はずかしがりやの子もいますが、明るくて、人なつっこい性格です。学校が遠いので、家の近くにいる人と友だちになりたいのです。

4 ようご学校でどんな勉強をしているの

ようご学校には国語や算数、音楽、図工、体育、生活もあります。ただし小学校のような教科書はありません。一人ひとりの子どもに合わせて勉強をしています。言葉を覚えたり、数を数えたり、ボタンをはめたり、一人で着替えをする練習もしています。給食もあります。養護学校の給食はとてもおいしいです。

いじめやけんかのない楽しい学校です。



5 どのようにお話しをすればいいの

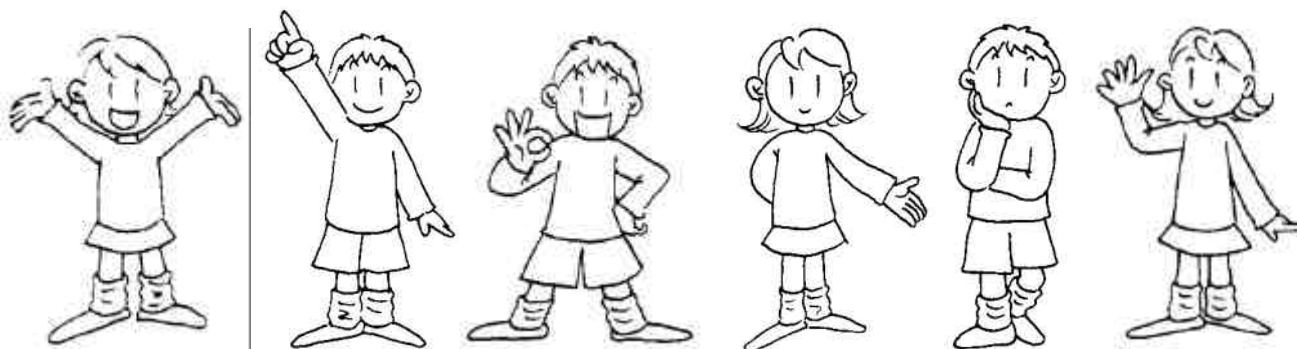


お話しのできる子もありますが、つまらない話やむずかしい質問にはだまってしまったり答えられないことや自分の好きなことばかり話してしまうこともあります。相手の目を見て興味があるかな、わかるかな、と確かめながらお話ししましょう。

お話しのできない子は、指差しや絵や写真などを使うとよいでしょう。自分だけのサインを使う子もいます。自分では話せなくても言っていることがわかる子もいるので話しかけながらするとよいでしょう。

6 いっしょに活動するとき

- ・「○○ちゃん」「○○くん」と名前を呼んであげましょう。
- ・「わあ！これ見て！」とちょっと大げさに言ってみましょう。
- ・まちがったときは「これでいいのかな？」と、自分で気づけるように言ってあげましょう。
- ・目を見て話しましょう。
- ・やることを指差して教えてあげましょう。
- ・肩や背中や手に軽くふれ、つれていってあげましょう。
- ・言いたいことが伝わらないときは、くり返したり、別の言葉で言い直してみましょう。
- ・お手本をやって見せましょう。
- ・続けてやらずに順番に1つずつやりましょう。
- ・その子ができることは手を出さずに見守り、できないところは手伝ってあげましょう。



7 だれにでもやさしいきもちで



養護学校に通っている子だけではなく、小さい子やお年寄り、病気の人や友だち、

きょうだいもみんな同じ社会に生きています。困っているときはお互いに助け合って明るく楽しい学校や地域にしたいですね。